

令和7年度 里山探検隊〔揖斐コース〕開催！

『里山探検隊』は、揖斐川・根尾川上流域で発生した災害の歴史や、これまでに実施している防災対策事業をとおり砂防事業の目的や効果、災害への備えについて学習する場として活動するものです。

I 概要

日時：令和7年10月15日（水）12:30～17:00

見学箇所：①大蔵谷第1砂防堰堤、②横山ダム、③ナンノ谷大崩壊地
④ナンノ谷砂防堰堤1号（車窓）・2号改築工事現場

参加者：10組13名

職員7名、越美山系砂防ボランティア協会3名

II 見学の様子



おぞうたに
大蔵谷第1砂防堰堤



横山ダム内部



ナンノ谷大崩壊地



ナンノ谷砂防堰堤2号改築工事現場



探検隊隊員13名

III 参加者の感想

- ・砂防ダムは、埋まってからも傾斜がなだらかになることで流れを遅くするということを知りました。
- ・近年、地球温暖化で短時間に大雨が降るため、さらに災害防止のため、砂防の必要性、重要性を認識したい。
- ・「砂防」という言葉のイメージから砂を防ぐと思ってしまいましたが、実際には災害対策に役立っていることがよく分かりました。
- ・時々ハザードマップのチェックをします。
- ・治山、治水の大切さをもっと一般の方に知って欲しい。